

検査方法と判定基準は、弊社ロープ式エレベーター・油圧式エレベーターに適用します。

定期検査業務基準書をもとに、主回路・ブレーキ回路等の電磁接触器の接点を確認したうえで、下記基準に基づき判定してください。

判定基準

主回路、ブレーキ回路のフェールセーフ設計の該非は、下記表を確認してください。

- ・フェールセーフ設計が確認できれば判定終了。
- ・フェールセーフ設計の非該当機種については、弊社交換基準に従って判定してください。

①ロープ式エレベーター主回路およびブレーキ回路の検査

制御盤型式	電動機主回路			ブレーキ回路		
	対象となる電磁接触器	フェールセーフ	交換基準	対象となる電磁接触器	フェールセーフ	交換基準
SICON-4000	EM・MGM		200万回または10年	BKM・S	○	
SICON-2000/2001	EM		200万回または10年	BKM		50万回または10年
NWELC100	MLD1、S1	○		BD2、S2	○	
GV、FVシリーズ	52M、MDC	○		BK1、Bk2	○	
ASNシリーズ	CM	○		BM、BM2、CM	○	

※SICONシリーズの起動回数は、専用コンソールを使用しCATEGORYメニューからVIEWメニューに入り起動回数を確認してください。

②油圧式エレベーター主回路の検査

制御盤型式	電動機主回路		
	対象コンタクター	フェールセーフ	交換基準
SICON-2001H	MCD・MCY		100万回または10年
FS、PB、FDシリーズ	SC1・SC2・IC	○	

※SICONシリーズの起動回数は、専用コンソールを使用しCATEGORYメニューからVIEWメニューに入り起動回数を確認してください。

③ブレーキストロークの検査

検査項目のブレーキ プランジャーストロークの項目は、イ構造上対象外に判定してください。

巻上機型式	要改善ブレーキの判定				
	プランジャーが拘束されない	ブレーキSW ※1	温度センサー	コイル電流最少バネ力最大時の余裕度	ストロークリミッター ※2
BW127/BW1491/BW195 BW215/BW249/BW275		○			
WIN3000/WIN5000		○			
MR-D600/MR-D1000		○			
150D/180D		○			
208K/250K/HS250K		○			
SKE-450/SKE-600 SKE-800/SKE-950					○
SKW-1500F					○

※1 ブレーキSW

- ・ブレーキスイッチがあり、ブレーキスイッチが動作している時は、確実にブレーキが解放しています。

※2 ストロークリミッター

- ・ライニングが摩耗により、要是正となる厚さ前にプランジャーストロークがストロークリミッター等に当たり、ブレーキの保持力が無くなる構造ではありません。
- ・ブレーキライニングの厚さが要是正値の厚さになった場合でもプランジャー推力がブレーキスプリングのばね力より低下しない構造です。